

教 員 氏 名	小 原 倫 子	職 位	教授
最 終 学 歴	名古屋大学大学院教育発達科学研究科博士課程後期課程 心理発達科学専攻修了（2007 年 3 月）		
学 位	心理学博士（名古屋大学）教育博第 88 号		
役 職	教育保育学部教育保育学科 学科長	委員会	大学評価委員会 教育保育学部運営協議会 大学院研究科委員会 実習委員会
担 当 科 目	【学部】 「子ども理解の理論と方法」 「子ども家庭支援の心理学」 「子育て支援」 「教育相談 A」 「教育相談 B」 「総合演習ⅠA・1B」 「総合演習ⅡA・ⅡB」 「卒業研究演習」 「保育実習指導Ⅰ」 「教育・保育学特講Ⅱ」 【大学院】 「教育相談特論Ⅰ・Ⅱ」 「カウンセリング特論Ⅰ・Ⅱ」 「人間文化特論（心理学の研究と方法）」 「課題研究Ⅰ・Ⅱ」		
教科書・教材・ 教育方法の実践例	1. ICT を活用した、インタラクティブ性のある授業方法 2. 実践の場での柔軟な応用力を育てるために、教育や臨床現場での事例の紹介や グループワークによる事例検討を導入した授業方法		
教育研究業績 主要 10 点	【著書】 1. 「エピソードで学ぶ子ども家庭支援の心理学」, 2024 年 3 月, 編著者, 共著, p1, 「はじめに」, pp.2-3 「本書の使い方」, 第 4 章, 第 1 節, pp131-135 「子 ども家庭支援に子どもの精神保健を理解し課題を考えることがなぜ必要か」, 第 4 章, 第 4 節, pp157-167, 「子どもの障がいー発達障がいへの理解と支 援」 2. 「新・子ども家庭支援の心理学」, 2023 年 4 月, 共著, 第 2 章, pp.20-31, 「胎 児期・新生児期・乳児期・幼児期の発達と支援」, 教育情報出版 3. 「児童心理学・発達科学ハンドブック」, 2022 年 9 月, 共著, 第 1 巻, 第 11 章, pp.589-655, 「情動発達と意識 EMOTIONAL DEVELOPMENT AND CONSCIOUSNESS」, 福村出版 4. 「学校で役立つ教育相談」, 2019 年 4 月, 共著, 第 7 章, pp.76-93, 「幼児期・ 児童期の心理と発達」, 第 13 章, pp.171-177, 「児童虐待とその対応」, 第 15 章, pp.188-197, 「子育てと家族の問題への対応」, 八千代出版 5. 「個と関係性の発達心理学：社会的存在としての人間の発達」, 2018 年 3 月, 共 著, 第 2 章, pp.43-61, 「母子相互作用と母親の発達」, 北大路書房 6. 「コンパクト版保育者養成シリーズ：保育の心理学Ⅰ」 2018 年 3 月, 共著, 第 2 章, pp.17-24, 「生涯発達心理学の視点」, 一藝社 7. 「コンパクト版保育者養成シリーズ：保育の心理学Ⅱ」 2018 年 3 月, 共著, 第 2 章, pp.17-24, 「個人差に応じた保育」, 一藝社 【学術論文】 1. 保育者の情動認知の獲得、習熟プログラムの開発(2)ー横断的データによる、初		

	任保育者・主任保育者・園長の比較から－単著，桜花学園大学保育学部研究紀要，第 32 号，pp.17-24，2025.11. 2. 保育者の情動認知の獲得、習熟プログラムの開発(1)－縦断的データによる初任保育者の変容過程から－ 単著，桜花学園大学保育学部研究紀要，第 31 号，pp.15-25，2025.3. 3. 保育者一人あたりのこどもの人数と子どもの様子の関連－1 歳児クラスの食事場面に着目して－共著，桜花学園大学保育学部研究紀要，第 31 号，pp.55-60，2025.3. 4. 「保育の質の構造と保育者の心理的特性との関連に関する検討(2)－保育職の経験年数による「保育の質の構造」に関する認識の変化」－ 共著，桜花学園大学保育学部研究紀要，第 26 号，pp.51-59，2022.11. 5. Relationship between Emotional Intelligence, Maternal Accuracy in the 23 Perception of Infant Emotions, and Parenting Difficulties 共著（査読有），journal of psychology & the behavioral sciences Volume 8 – Issue 1 – Spring 2022 Editors: Sharo Shafaie & Deborah G. 6. 「わが子の泣きに対する父親の認知プロセスの分析：育児期初期における発達の様相についての質的研究」，共著（査読有），発達心理学研究，第 32 巻（1），p.11-23，2021.4. 7. 「保育の質の構造と保育者の心理的特性との関連に関する検討(1)－保育・幼児教育施設の形態の違いによる保育者の心理的特性の違い」，共著，岡崎女子大学・岡崎女子短期大学研究紀要，第 52 号，pp.33-38，2019.3. 8. 「乳幼児の情動状態を読み取る VTR 刺激の妥当性の検証（1）」，共著，岡崎女子大学・岡崎女子短期大学研究紀要，第 51 号，pp.9-15，2018.3. 9. 「地域における子育て家庭の状況及び需要に関する発達の变化的実態調査」，共著，（査読有），地域活性化研究，第 13 号，pp.11-17，2015.7. 10. Process of Change in Mothers' Abilities to Perceive Infants' Emotions.，共著，岡崎女子大学・岡崎女子短期大学研究紀要，第 47 号，pp.11-15，2015.3. 11. 「母子相互作用において母親が使用する情報：内的作業モデルの影響」，共著（査読有），発達心理学研究，第 23 巻（1），p.37-44，2013.3.
所属学会	1. 日本心理臨床学会 2. 日本心理学会 3. 日本発達心理学会 4. 東海心理学会 5. 日本小児保健学会 6. 日本保育学会 7. 日本乳幼児医学・心理学会 8. 日本質的心理学会